

なみきり

茨城県笠間市福島五五二
電話〇二九六七二一三七四二
URL <http://www.iwamamankirine.net>

創刊号
平成24年4月1日
発行 岩間波切不動寺

岩間波切不動寺開運の道しるべ

皆さんは毎日をどのように暮らしたいでしょう？

人の悪口ばかり言つて暮らしたい。ケンカばかりの家で暮らしたい。病気になるって寝ていたい。貧乏になりたい。

こんな人はいないはずですよ。

「明るく」「楽しく」「豊か」に毎日を生きたい。

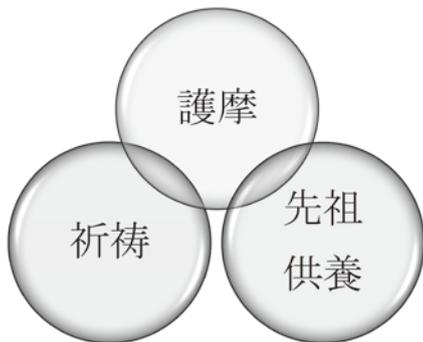
岩間波切不動寺は、ご縁のある方全てが「明るく」「楽しく」「豊か」に暮らせるように、皆さんと一緒に祈りするお寺です。

いろいろな原因により、健康や対人関係、仕事やお金で悩む人がいます。

でも大丈夫。岩間波切不動寺では三本の柱で皆様の幸せを支えます。

護摩

毎月の第二日曜・17日・28日の三回の縁日があります。悪業を焼きます。



祈禱

三宝荒神・辨財天・大黒天に祈り、願望を叶えていただきます。

先祖供養

造先・塔秘法・印・山法・祖・供養・祖・供養

第一步！まずお護摩に出掛けましょう。

護摩

波切不動寺の本尊はお不動さんです。お不動さんを拝む時には、護摩がイチバンです。お不動さんの護摩は私たちの不幸の原因になる悪い業を焼きつくします。お不動さんは恐ろしく怒つた顔で私たちを睨みます。ズルイ気持ちやいい加減な気持ちや許せないからです。ズルイ気持ちやいい加減な気持ちによる行動が不幸の原因になるのです。

お不動さんの護摩に一生懸命にお参りしていると、人生の道に迷つた時、必ず良いほうの道を選ばせてくれます。その時は何故こんなに嫌なことがあるのか？悔しい思いをしなくてはならないのか？と思うのですが、しかし、それはさらに高い自分を作り上げるためにお不動さんがくれたプレゼントなのです。そこで嫌な思いや、悔しい思い、恥ずかしい思いをしたことは、間違つている自分や今の自分に足りないものの現れです。それに気づき必死で努力することにより、かならず良い方向に向かうのです。

苦しいときには気づきませんが、あとで考えた時必ずそのことに気づきます。

あなたにとって一番良い道を切り開いてくれる。どんな荒波をも切り開き進む力を与えてくれる。そんなお不動さんです。たくさんお参りしてより強く太く縁を結んで下さい。

お護摩の目的

- ・日頃知らずに作ってしまった不幸の種(悪業)を焼く。
- ・仏さまとの縁を深める。
- ・自分を知る。

先祖供養

真言宗のお祈りは自分が仏になり、仏を動かす祈りです。常に心がけるのは自分がお不動さんになって自分に厳しく正しく強く、人には優しく生きようとする事です。

なるべくたくさんお参りしましょう。仏さまは向こうから勝手にやってくるので、こちらからアプローチすることが大切です。

あなたは食べきれない程の食べる物も、着きれない程の着るものも沢山持っています。そんなあなたの目の前に、寒くて震えて、お腹を空かして今にも死にそうな人が倒れています。あなたならどうしますか？ 持っているもので助かるなら、与えるはずですよ。

霊を供養するということは、忘れないこと。思い出すこと。その人が居るものだと思つて行動することです。見えないからいない。聞こえないからいない。というのとはとてもナンセンスです。なぜなら、亡くなった“あの人”はあなたの記憶の中に生きています。自分からです。自分を可愛がつてくれた“あの人”を思い出してみましょう。思い出せるということは、記憶の中で生きています。ということなんです。

あなたの中で生きています。ですから仏壇に手を合わせる時や、お彼岸やお盆などは“あの人”たちを思



お地藏様をきれいにしましょう



縁日の護摩の様子

い出します。そして、そこに居るものとして生きていく人にするように食べ物などを供えます。そうすると、体を持たない「あの人」は、生きていく人と同じように元気になる、力が付くわけです。

しかし、記憶の中で生きていくということは、事故でいきなり亡くなったとか、病気で衰弱して亡くなったという場合、そのままの姿で苦しんでいるということになります。お葬式でお坊さんが「どっちに行ったらよいか?」「どのように考えればよいか?」をお経に乗せて教えてくれるのですが、どういふわけかよく訳がわからず迷っている方が沢山います。ですから生きてる私たちが仏さんを拝むことによって、苦しんでいる人たちを、仏さんに助け

ていただくしかありません。皆さんが苦しんでいて誰も分かってくれないとき、皆さんはどうするでしょう?分かってもらうために周りの人に相談したり、助けを求めたりするのはずいぶん、肩をたたいたりする訳です。「あの人」がいろいろ出来ません。分かってもらうために足を引っ張ったのだと思って行動したならば、「あの人」は苦しみます。楽で余裕があれば逆に助けてくれる。これが心から供養をしたときに与えて頂ける御利益です。

真言宗のお祈りは「自分が仏になって仏を動かす」お祈りです。最終目標は自分がお地藏さんになって、世の苦しんでいる人全てを助ける心を持つことです。その気持ちがみんな自分に返ってくるのです。

（印仏） ◎簡単にできて結果がでる。

皆さんにお地藏さんのハンコを紙に押し、お地藏さんのおすがた御影を造っていただきます。出来上がった御影にお性根入れをして、川や海に流します。川や海の水がお地藏さんの苦しみを抜くありがたい水に変わります。この度の東日本大震災でもいち早く陸前高田市に行きこの供養をしてきました。苦しんでいる誰かのためにする行動は、必ずあなたに返ってきます。

いつでも印仏ができるように、お地藏さんのハンコを用意しました。やりかたもお教えします。はんこは一体2500円です。

（お塔婆を造る）

塔婆は位牌とは違います。塔婆は仏様です。塔婆を造ると、大変な徳が積めます。塔婆を造って積んだ徳を、亡くなった誰かの為に廻らせる。お地藏さんを造るのにも通じますが、塔婆を建てるということは、苦しんでいるみんなを助けてくれるありがたい仏さまを造るということです。ですから、お彼岸や、お盆、回忌法要の時にはその都度、塔婆を建てるわけです。

心の中に生きていく「あの人」のためであればその名前でお申し込み下さい。自分の先祖みんなのためなら「〇〇家先祖代々」とお申し込み下さい。苦しんでいる全ての人のためなら「三界萬霊」とお申し込み下さい。

自分がした行いは必ず自分に返ってきます。動かないで食べ続けられれば太るし、歯を磨かないで寝れば虫歯になります。こっそり勉強をすれば人よりも知恵がつくし、人が寝ている間寝ないで働けば人よりもお金持ちになれます。

誰かの為に行動し誰かを助ければ、誰かが助けてく

れます。まずは、自分から行動を起こすことです。この機会にお塔婆を建ててあげましょう。してあげられることが幸せなのです。

（当山秘法の先祖供養法により供養する）

とつても苦しんでいる「姿のない」人が、今行動を起こせる私達に助けを求めるとき、私達の足をひっぱたり、叩いたりして気づいてもらおうとします。でも私達は気づかないものですから、叩かれ続ければ足も悪くなるし、病気にもなります。こうなってしまうと「姿のない人」は悪い業を造ってしまったことによりさらに苦しみます。

この場合に「私達」と「姿のない人」を同時に救うのが当山秘法の先祖供養法です。

毎晩のように拜ませて頂いています。結果は必ず目に見えるかたちで頂いております。どうしても苦しいことが続いて仕方ない。という方は、是非お申し出下さい。

祈 禱

三宝荒神

障りを除くための最終手段

土水火は私達が生きていく上で必ず必要です。この三つの宝に失礼をすると、土水火が怒りいろいろなことが起ります。知らずに山を崩してしまったり、土の障り、井戸や池を埋めてしまった等の水の障り、火事の跡地にそのまま家を建ててしまった等の火の障りにより、悪いことが続いている場合にご自宅まで出張してご祈禱をします。

辨才天

努力した分、驚く程の御利益がもたらえる。

勉強が出来るようになる。いろいろな技術が上達する。上手にしゃべれるようになる。有名になる。等々、頑張ったことの結果ができれば、信頼や地位や財産ができます。あなたがやろうとすることで、あなたが持つ才能が最大限発揮できるように力を貸してくれる神様

です。
毎月17日に観音さまの護摩の後、辯才天護摩を焚きます。成績向上、技芸上達、来客円満、商売繁盛、立身出世をお祈りしたい方はお参り下さい。

大黒天

何かをやろうとするとき、種になる力を与えてくれる。

何かをやろうとするとき、必ずお金や、ご飯が必要です。昔から、腹が減っては戦は出来ぬと申します。つまり、食べられなければ夢を追うことは出来ません。夢を追わなければ夢は叶うことはありません。夢を追うための力をくれるのが大黒さまです。

波切不動寺には「大黒講」があります。「大黒講」では、60日に一回くる甲子の日の夜中に、みんなで集まって拝みます。この夜は特別な夜です。

この晩の大黒さまの秘法は、一晩で千日拝んだことになるのです。

講師の方はいろいろな方がいます。その中でも、商売に勢いのなかった会社が大黒さんを拝んだ数日後から、間に合わない程の仕事に追われていたという嬉しい悲鳴も届いています。やってみたい方はお申し出ください。60日に一回夜23時30分から二時間ほど拝む集まりです。

◆年間行事◆

毎月 第二日曜日	11:00~	日曜護摩
17日	18:00~	十一面観音縁日護摩
28日	18:00~	お不動さん縁日護摩
3月20日	11:00~	彼岸お大師さんの法要 (塔婆申し込みあり)
5月 4日	11:00~	大祭柴燈護摩火渡り (添え護摩木申し込みあり)
8月13~16日	11:00~と 18:00~	お盆先祖供養祭り (塔婆申し込みあり)
8月18~19日	早朝出発	御嶽山登拝修行 (7月下旬申し込みあり)
9月22日	11:00~	彼岸お地藏さんの法要 (塔婆申し込みあり)
12月第二日曜日	9:00~	八千枚護摩 (11月祈祷札申し込みあり)
12月29日	9:00~	大掃除 (徳積のため奮ってご参加ください)
1月1~7日	正月護摩	(12月お札申し込みあり)
2月 3日	18:00~	節分星祭り (1月厄除け・星除け札の申し込みあり)

荒神様のご神体



今年の大黒天縁日は下記の夜中23:30~集合で始まります

1月3日・3月3日・5月2日・7月1日・8月30日・10月29日・12月28日

一時千座法は回数を重ねるごとに、大黒天様の力が増しご利益も増大します。

●●● 第一回 大久保先生の小さなブーム！ ●●●

〈母の造っていた甘酒づくりに挑戦〉



材料

【 麴 1kg
もち米 4合

作り方

- ①もち米を洗って炊飯器で普通のご飯と同じように炊く。
- ②沸騰させたお湯を60度に冷まし、麴を入れた器の中に注ぎよく解す。
- ③もち米ご飯を50度以下に冷まし、お湯に入れて解した麴を入れて混ぜる。炊飯器は保温にしてふたを開けておき、かたく絞った布巾を掛けておく。一時間に一回位かき混ぜる。八時間程度で完成です。
※注意 別容器に移し冷蔵庫で保管すること。発酵が進んでしまいます。

飲み方

そのままでは甘くて飲めません。水で薄めて沸騰する直前で火を止めコップに移してお召し上がりください。または甘酒4割、豆乳6割で召しあがると、食事の代わりにもなりますお勧めです。甘酒は飲む点滴と言われているそうです。簡単に造れる甘酒、健康管理にいかがでしょうか？

*私も甘酒飲んでダイエット、そしたら腰痛もなくなるかな(*_*)

腰痛に悩まされ、寒冷喘息に悩まされ、思考力も衰え...これって、老化現象かもしれないけど...私、まだ老化には早いでしょ？
ふと、実家の両親のことが頭に浮かびました、「あの2人は健康のことなど気にせず、酒もタバコも平気で、塩辛い漬物に醤油をかけて食事、なんであんなに長生き？」
そういえば、母はいつもこたつの中で甘酒を造って父と飲んでいたっけ。父は梅干しを毎年沢山漬けて、毎朝お茶の中に入れて飲んでいたっけ。あれが長生きの根源だったのかな？

体験通信記

本当に、み仏さまを信じられますか？

信仰は「信じる」ことから始まるのだと思えます。仏さまを信じないのでは、一步も仏さまに近づけないのです。数年前私の耳に、お不動さまの声が聞こえてきました。

「お前たちは、私を試すのか？」
えっ！どういうこと？お不動さまを試すとは……？

ある時、信者さんの会話を聞いてみると

「護摩を焚いて本当に病気が治るのかねえ？そしたら医者には要らないよね！」

とか、商売がうまくいかない人が信者さんに勧められて、お護摩に参座して、その方が

「護摩ってこんななんだ、これで商売が繁盛するのならいいけどね！」

と、こんな会話が聞こえてきました。

そのとき、お不動さまが

「試すのか？」

と、おっしゃった意味が解りました。

なるほどなあ。でも実際、自分に不思議なことが起こらないと、信じられないかもしれません。

信じられなければ、「波切不動寺には来ないほうがいいよ」と言ってしまったら、話は終わりで何の進展ありません。信じない者に、「み仏さまはいらっしゃるんだよ」と信じられるようにしてあげるには、どうしたらいいのでしょうか？

法忍阿闍梨と守快阿闍梨は、「僕たちは、ただ毎日毎日、一心にみ仏さまを拜んで護摩を焚くだけ

けです」と言って、毎朝3時30分に起床してみ仏さま方を拜んで修行をしています。6時から住職と聖翠阿闍梨が加わって、朝の勤行が始まり、8時前に終わります。

この日課を毎日続けています。

「何故、そんなに早くから、毎日」

と疑問に思う方もあるでしょう？ 答えは簡単

「仏さまとの約束だから」です。私たち4人はも

ともと寺の家系でもなく、

僧侶の家庭に生まれたわけ

でもありません。ですが、

若い二人はお不動さまが好き

きだから。聖翠は山で遭難

しそうになった時、お不動

さまに命を助けられ、その

お返しに僧侶になってお不

動さまのお使いをさせて頂

くことになったから。その

時

「毎日一生懸命修行に精進

するから、人々を助ける力

を与えて下さい」

とお願いました。お不動

さまとの約束だから、拜ま

ないと「人を助ける力を戴

けない」と思うのです。

護摩を焚いて、御祈禱をして、供養をして信者

さんが良くなった時、その時「お不動さんはい

らっしゃる、有難うございました」と心から感謝

の気持ちを奉げる。この瞬間に修行をしていてよ

かったと、心から思います。反対になかなか思う

ように願いが叶わない時、「本当にお不動さまお

力を下さっているのかな」と試してしまう自分が

います。なんて人間は自分勝手な生き物でしょう。

「信じる」

ということとは、とても難しい。心が強くないともろく崩れてしまいそうです。

「自分は信じているふりをしている時がある」

そのとき、私はみ仏さまに対してうしろめたい気持ちになります。

「こんな行者でいいのかなあ」

何度も自分に言い聞かせます。そして、

「お不動さまと約束し無ければよかった」

と、愚痴の独り言をつぶやきます。まだまだみ仏

さまの足元にも近づけないで、苦悩している凡夫

の私が居るのも事実です。この頃、考えるのも面

倒臭くなって、やることはやっているのだから

「まあ、いいか、何とかなるさ」と、開き直った

り？

でも皆さん、

「神さまや仏さまは本当に居られますよ」

疑わずに手を合わせてごらん下さい。じつと心を

動かさずにね。そうするとお不動さまがあなたを

変えて下さいます。よりよいあなたにね。ああし

たい、こうなりたいとあなたが欲しくなくても・

あなたの一番良い道を歩ませて下さいます。これ

が二十数年お不動さまにお仕えし、共に歩んでき

た私の実感です。

愚痴を言っても、弱音を吐いても、一生は一生。

せつかくお不動さまや、多くのみ仏さまに手を合

わせるチャンスに廻り合ったのだから、そのチャ

ンスを自分のモノにしましょう。誰でもそのチャ

ンスに出会えるとは限りません。み仏さまは、皆

さんの心の中にいつもお住まいです。心が荒れて

れば荒神さまを引き寄せ、陽気で明るければ御利

益を下さる女神さまを引き寄せます。み仏さまを

信じることは、自分を信じることなのです。聖翠

